

ニボルマブ療法(4週毎)
(オプジーボ)

患者番号: 氏名: 性別: 年齢:

がん種 (適応)	胃癌		
開始年月日	年	月	日
1コース期間	28 日間		
体格	身長	cm	体重 kg 体表面積 m ²
嘔気・嘔吐リスク	最小度	制吐剤	なし
特記事項			

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
オプジーボ	480mg (480mg/body)	30分	Day1

【処方が必要な内服薬】

- HBs 抗原(+) → **消化器内科紹介**
- HBs 抗原(-) → HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-) → HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量
- HBs 抗体(+)-and/or HBc 抗体(+)
- HBV-DNA 定量(+) → **消化器内科紹介**

指示医師サイン _____

		免疫チェックポイント阻害薬 副作用対応連携シート			
副作用	主な自覚症状	検査項目	ハースマン(投与開始時) 〇実施	モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ	胸部X線 胸部CT KL-6 Sp-D	〇 〇 〇	投与時 深い時 2か月毎に2回	左記の自覚症状発現の場合、左記検査項目の異常が認められた場合には、直ちに相談ください。
内分泌障害	甲状腺機能低下症：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など 甲状腺機能亢進症：汗をかきやすい、体重が減る、甲状腺のほれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、便秘、食欲低下 副腎機能不全：身体がだるい、意識がもうれる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみかす、食欲不振、低血圧、脱力感 副甲状腺機能低下症：手足の筋力の虚脱、手足口の周りがしびれ	TSH・FT3・FT4	〇	月1回	【甲状腺】 症状出現（倦怠感・動悸など）、TSH・FT3・FT4に異常が認められた際、TSHレゾクタ抗体、抗チロトロピン抗体、抗TPO抗体を1回測定し、自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト 【副腎】 ACTH・コルチゾールを測定した際、コルチゾール低値の場合にコンサルト
		抗チロトロピン抗体 抗TPO抗体 TSHレゾクタ抗体 pTH	〇 〇 〇	深い時 深い時	
		ACTH コルチゾール	〇	月1回	
		排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査 CPK	〇 - 〇	投与時 深い時 投与時	
大腸炎 重度の下痢	下痢（軟便）もくは通常おむつ換回の便通、血便もしくは黒クマール便で粘着質の便、重度の腹部痛もしくは肛門痛	排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査 CPK	〇 - 〇	投与時 深い時 投与時	Grade2以上の下痢、排便回数の増加が認められた場合 （ハースマンと比較して4〜6回/日以上の排便回数増加） 腹痛、下血・便失禁・発熱に特に注意
重症筋無力症 筋炎	重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がぼけて見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体に力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	ACR抗体 HbA1c カリウム 血糖 尿酸（尿酸トランスフェラーゼ） CK-MB	〇 〇 〇 〇 -	月1回 深い時 深い時 深い時 深い時	目下からでる（眼輪下垂） 飲み込みにくい（嚥下障害） 症状発現時 あるいは、CPK1000IU/L以上の場合にコンサルト
1型糖尿病	糖尿病：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える 糖尿病性ケトアシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	HbA1c カリウム 血糖 尿酸（尿酸トランスフェラーゼ） CK-MB	〇 〇 〇 〇 -	深い時 深い時 深い時 深い時	血糖値が、急激に上昇した場合にコンサルト
皮膚障害	湿疹、かゆみ	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH	〇 〇 〇	投与時	Grade2以上の皮膚障害
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐・嘔気、食欲不振、そう痒感	HbS抗体・HBs抗体 HCV抗体	〇	感染歴がある方は3か月毎にDNA量を測定	左記の自覚症状の発現、又はGrade2以上の肝機能障害が認められた場合にコンサルト
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	PT APTT フアリンゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	〇 〇	深い時 深い時	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛	Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定 (CBC) HbA1c	〇	投与時	左記の自覚症状が発現した場合にコンサルト
その他			〇	投与時	
※検査オーダーは検査項目、統合レポートを作成していますので、こちらより使用してください					
死亡例が報告されています。早急に専門医へのコンサルトをお願いします					